

台風24号の接近に備え、そして運転再開に尽力された

みなさん、大変 おつかれさまでした！

9月30日から10月1日にかけて、台風24号が本州を縦断しました。昭和34年に被害をもたらした「伊勢湾台風」に匹敵する台風として、嚴重な警戒が呼びかけられました。

JR東日本においても、30日夜は在来線で終日運休、新幹線においても列車を運休させて、台風に対応しました。駅や列車内では旅客対応に追われました。台風の接近の影響で、東海道線の一部列車が途中駅で長時間運転を見合わせとなりました。

台風通過後は、点検や被害箇所の対応、列車の運転整理や車両や乗務員操配、そして旅客対応に当たられました。不眠不休での対応を余儀なくされた方も多いかと推察します。

対応に当たられた全てのみなさま、大変おつかれさまでした。

季節の変わり目で体調を崩しやすい時期です。

どうか、しっかりと体を休めてください。

激甚化する気象災害に対して「空振りでも安全策をとるべき」という姿勢が重要であり、社会全体での事前対策が問われています。台風24号への対応で学んだ教訓を活かして、台風に対する鉄道の運転計画と備えをつくりだしていきましょう！